

週間漁海況情報 2026年第19号

令和8年5月19日発行

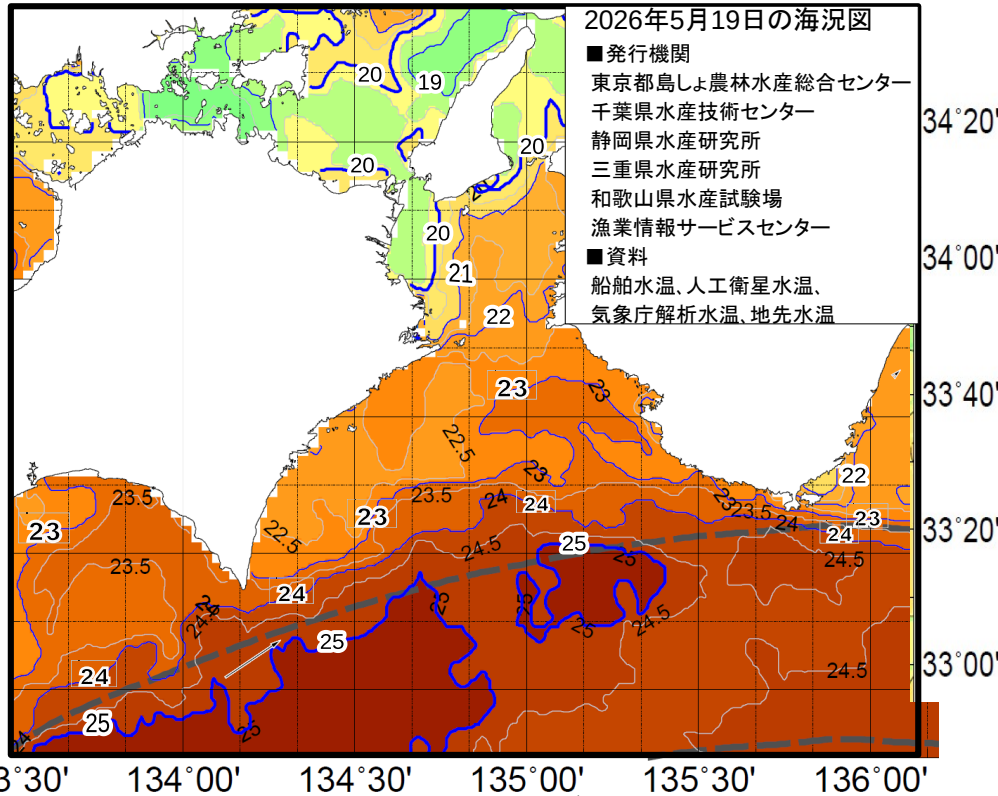
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖20マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は23～25℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で19～20、紀伊水道で19～22、海部沿岸で22℃台となっている。

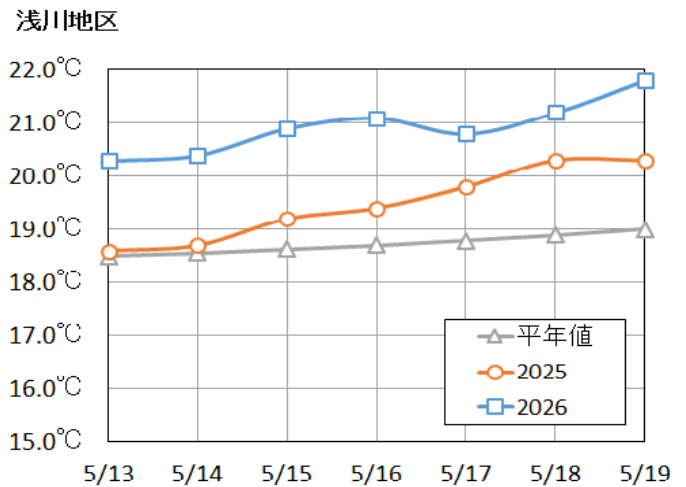
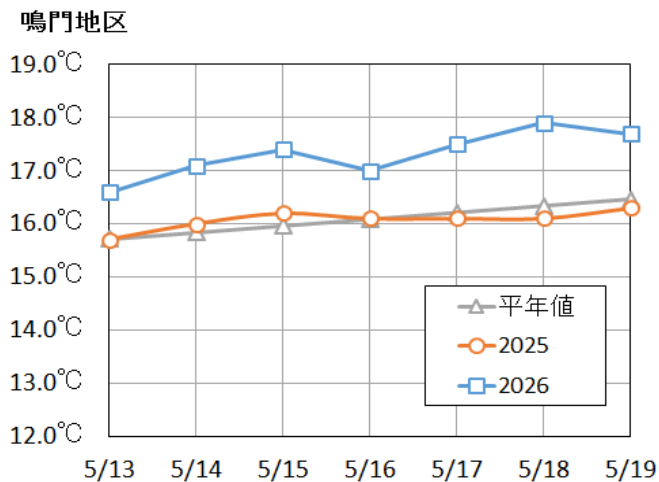


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(5月13日~5月19日)

鳴門地区の水温は、16.6~17.9℃で「やや高め」で推移。浅川地区は、20.3~21.8℃で「高め」から「かなり高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、3.3~4.1℃だった。



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(5月20日~5月26日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」、浅川地区で「高め」で推移する見込み。

漁況 (5月11日～5月17日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが大きく増えて91.1トン水揚げされた。
 延縄では、ハモが減って中主体に8トン、あまだい類が0.5トン水揚げされた。
 底びき網では、ハモが増えて中主体に6トン、いとより類が減って1.4トン、
 マダイが減って1.3トン水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが大きく減ってめじろ級主体に1.2トン、マダイが0.5トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

延縄では、キダイが減って大主体に0.7トン水揚げされた。
 大型定置網では、マルソウダが大きく増えて27.6トン、
 マアジが大きく減って小あじ主体に0.5トン、ヒラソウダが増えて大主体に0.5トン、
 イサキが0.5トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.4トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	91,125	911		↗↗
	延縄	71	ハモ	7,992	113	中主体	↘
		51	あまだい類	528	10		→
	底びき網	37	ハモ	5,990	162	中主体	↗
		36	いとより類	1,422	40		↘
		37	マダイ	1,278	35		↘
	小型定置網	14	ブリ	1,181	84	めじろ級主体	↘↘
		16	マダイ	517	32		→
海部沿岸	延縄	18	キダイ	666	37	大主体	↘
	大型定置網	6	マルソウダ	27,630	4,605		↗↗
		6	マアジ	547	91	小あじ主体	↘↘
		6	ヒラソウダ	490	82	大主体	↗
		6	イサキ	485	81		→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘